

## 年次研修の授業研修における学び合いについて

### 学び合う仲間

#### 先輩に学ぶ研修（6年次教職員研修）



先輩教職員

6年次教職員研修では、「先輩に学ぶ研修」を実施しています。6年次教職員が、憧れの先輩を自ら選び、その方の勤務校へ赴いて、半日、授業や学級活動の様子等から、学習指導や生徒指導、学級経営等を学ぶ研修です。選ばれた先輩も、6年次教職員の学びに役立つと努め、双方向の学び合いの研修となっています。

【受講者の声】

保健室内でのけがの対応を行うだけではなく、学校全体の環境課題を見渡し、対応を考えていくことが大切だと思った。「子どものために、今ある環境で最善の手を考えていくことが大切だ」と教えてくださったことが心に残っている。

一人一人を尊重する教師の姿勢が子どもにも伝わっている様子で、互いの意見をしっかり聞いて理解しようとしていた。一人一人を愛し、本気で向き合っておられる姿こそ、自分が学べべき学級経営の原点だと感じた。



#### 異校種の教職員と共に学ぶ研修（6年次教職員研修）



つなぐ・学ぶ

小学校勤務 中学校勤務

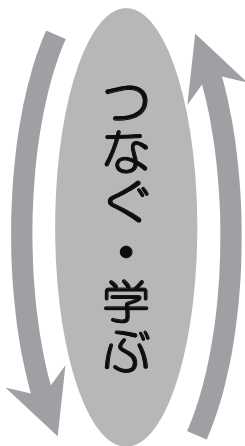
6年次教職員

初任者研修、2・3年次研修では、小学校、中学校の校種別に授業研修を行っていますが、6年次教職員研修では、小学校の授業も中学校の授業も全員で参観しています。事後研修の班は、校種を混ぜて編制しており、協議を通して、新たな気づきがたくさん生まれています。小学校と中学校の連携について、考えることができる研修となっています。

【受講者の声】

中学校の授業を初めて見ることができ、大変よい機会となった。子どもたちが意欲的にコミュニケーションをとるためには、学習環境や既習事項の積み重ねが重要だということを改めて学んだ。自級でも、ペアの手法を取り入れたい。

中学校教諭の視点から見ると、小学校の教材研究や準備はすごいと思った。初めて見る工夫も多く、参考になった。発達段階に応じて、児童生徒に考えさせることは違うので、改めて授業や日常の指導で意識していきたい。



#### 先輩の授業参観から学ぶ研修（初任者研修）



初任者

6年次教職員研修の授業研修では、初任者の参加希望を受け入れていきます。初任者は、6年次の先輩の授業を見ることで、多くの刺激を受けることができます。また、協議会では、気づきを共有し、学んだことを素直に出し合うことができる場になっています。多くの学びを明日からの実践に生かしていこうと意欲を高めています。

【受講者の声】

大変、勉強になった。同じ1年生の担任でも、落ち着いた雰囲気、子ども同士の聴き合う姿がすてきだったのは、担任が温かく接しておられ、普段からの積み重ねがあるからだと思った。子どもたちの考えを広く受け止めていきたい。

小学校の授業を見させていただき、こんなに丁寧に授業をされていることが衝撃だった。担任自身がとても落ち着いておられ、子どもたちも安心して学習している様子が素晴らしいと思った。自分もゆとりをもって、子どもと向き合いたい。